

西宮市のヒメタイコウチ

田 中 稔

1982年5月4日、自宅附近(西宮市上ヶ原九番町)を犬と散歩中に、田んぼの土手を歩行中のヒメタイコウチ *Nepa hoffmanni* Esaki を発見したので、附近の導水路に落ちているナイロン袋の下で、2♂♂4♀♀を採集したので報告する。この水路は仁川より導水されたもので、仁川上流の甲山湿地には本種がかなり産する。

本種を糸ミミズのエサで、水ゴケを入れた水槽で飼育していると、5月29日水ゴケの上に白色のイソギンチャクのような卵を20卵程産卵したが、雨水によりつかってしまい孵化は見られなかった。

兵庫県におけるキバラヘリカメムシの分布

高 橋 寿 郎

キバラヘリカメムシ (*Plinactus bicoloripes* Scott) の前胸背の側角に、前上方に向う鋭いトゲのある個体があることを長谷川仁氏はとりあげられて、特にこの型は関西以南に分布するらしいと記しておられる(インセクトリウム, Vol. 9, No. 10, P. 263, 1982)。そしてこの型は近年中国で記載された *Plinactus dissimilis* Hsiao に当るらしいとも述べておられる。手許にある“中国蟻類昆虫鑑定手冊、第一冊、1977”にはこの両者が図説されていて(P. 246, pl. 44, f. 578, 579)、後者の分布は中国大陸の中央部に広くいるようになっている。特長はやはり前胸背の側角の前上方に向う鋭いトゲの有無である。

元来この種は兵庫県下ではそれ程普通にいないのか記録がほとんどない。注意が足りないのかも知れない。筆者の手許にも僅か18exs.しか無い。ところでこの内2exs.は明らかに前胸背の側角に上方に向う鋭いトゲを有する個体である。そこで僅かの個体であるが県下の本種の分布状況の推測を混えて解説をしてみたい。

まづ兵庫県下におけるキバラヘリカメムシの産地を記録と一緒に記して見る(筆者所有標本にはデータをつけた)。産地：洲本市先山[堀田, 1978]、西宮市岡田山[女学院, 1974]、神戸市六甲山[長谷川, 1982]、鳥原(1♂, 5-V-1968, 1♀, 28-V-1972, 1♀, 21-III-1974, 1♀, 3-W111-1974, 1♂, 3♀, 10-V111-1974, 1♂, 2♀, 18-V111-1974, 1♀, 2-V1-1978, 1♀, 28-V1-1982, 1♂, 15-V11-1982, 1♂, 29-X-1982)、垂水(1♀, 23-IX-1979)、穴栗